

第2章 滝遺跡第15地点の調査

I 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中・近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡（1981年の変更増補で滝遺跡と合併）で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以

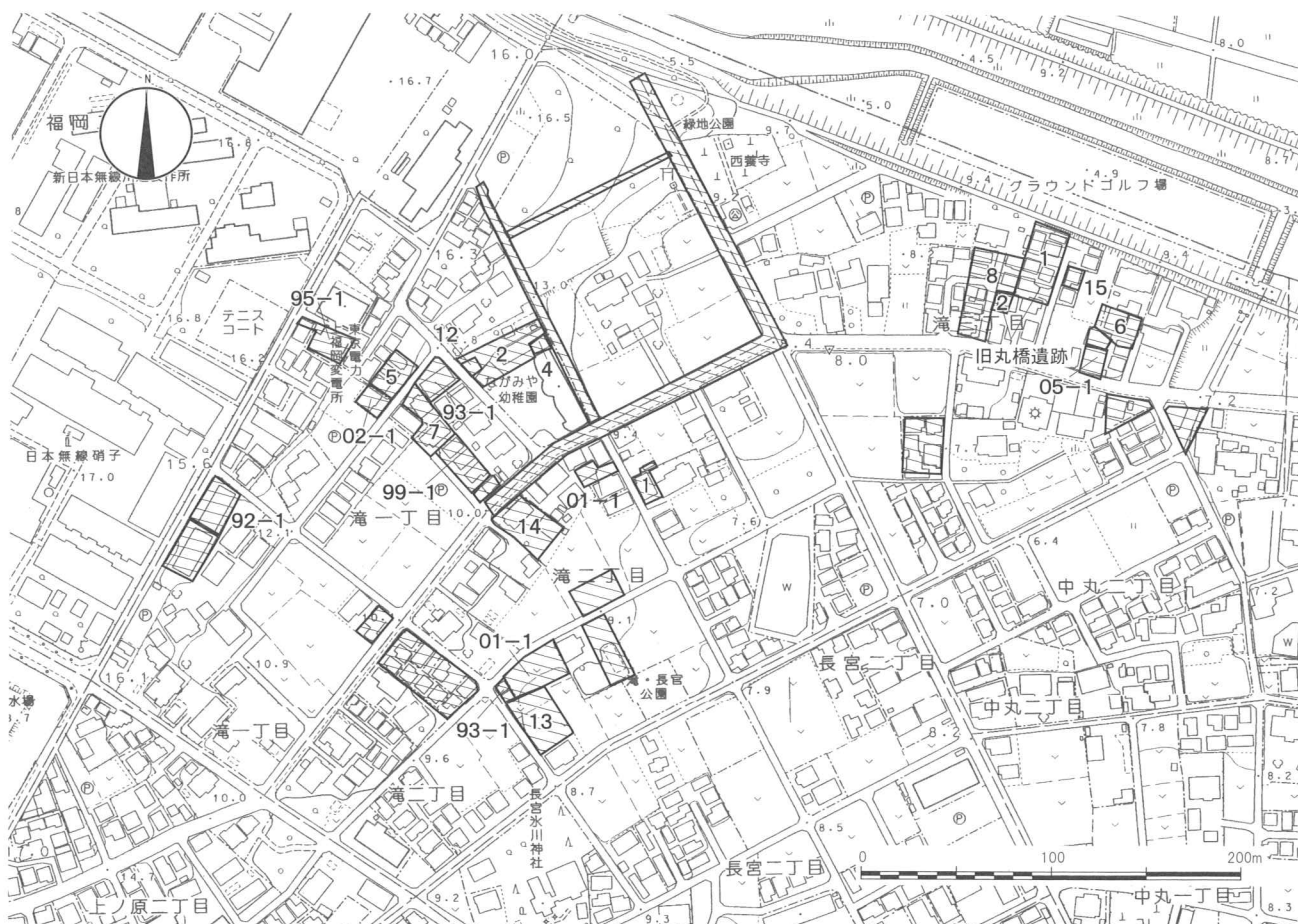
来21ヶ所で調査が行なわれている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査(1)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構（集石を伴う）である。

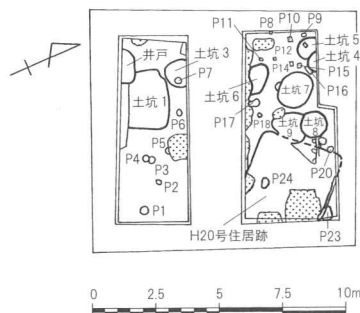
II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2009年7月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構等の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年9月2日から14日まで行なった。幅約3mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、平安時代の住居跡、近世以降の土坑、井戸、ピット等を確認した。旧



第3図 滝遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第4図 滝遺跡第15地点遺構配置図 (1/300)

石器時代の確認調査は行っていない。

地表面から遺構確認面までの深さは約40cmであり、開発による遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年10月23日から11月6日まで行ない、奈良・平安時代住居跡1軒、近世以降の土坑8基、井戸1基、ピット20基を検出した。

Ⅲ 遺構と遺物

①H20号住居跡

【位置】旧丸橋遺跡第1次12号住居跡(1978年調査)の東方約10mに位置し、住居跡全体の約2/3を検出した。

【形状・規模】東側部分は調査区内に収まると見られるが、攪乱が著しい。

主軸方位はN-70°-W、北西壁に竈を備える。

平面形態は隅丸長方形、規模は3.7m以上×3.5m、深さ39.8cmである。

【貼床・周溝】厚さ1~4cmの貼床がみられる。周溝は北東壁の一部と竈の前部分で途切れる。幅5~15cm下幅2~6cm深さ2.8~8.2cmである。

【竈】住居跡北西壁の中央部に構築され、西側の約半分を土坑8・9に削平される。褐色土で構築された袖の一部のみが残存する。内部の奥壁は良く焼け焼土面がみられる。袖部の最大幅78cm、竈内部は幅42cm、奥行き100cmで床面からの深さは9.3cmである。土製の支脚は直立した状態で出土する。

【貯蔵穴】住居跡西側の隅に位置し、平面形態は不整形を呈する。規模は84cm×(41)cm、深さ4.9cmで口縁部を下にした状態で土師器の甕が出土する。

【遺物出土状況・出土遺物】竈内と竈周辺部の床面、貯蔵穴内から出土する。遺物の詳細は第3表のとおりである。

【時期】8世紀

②井戸

井戸は調査区の西端に位置し、一部を検出したのみで全容は不明である。検出部の平面形態は半円形で、規模は確認面径(123)×(69)で、深さは地表面から約1.9mまで確認したが不明である。

③土坑・ピット

出土遺物、覆土層の観察から近世以降に属するとみられる。詳細は第2表のとおりである。土坑2、ピットNo.13・19・21・22は欠番である。

第2表 滝遺跡第15地点土坑・ピット一覧表 (単位:cm)

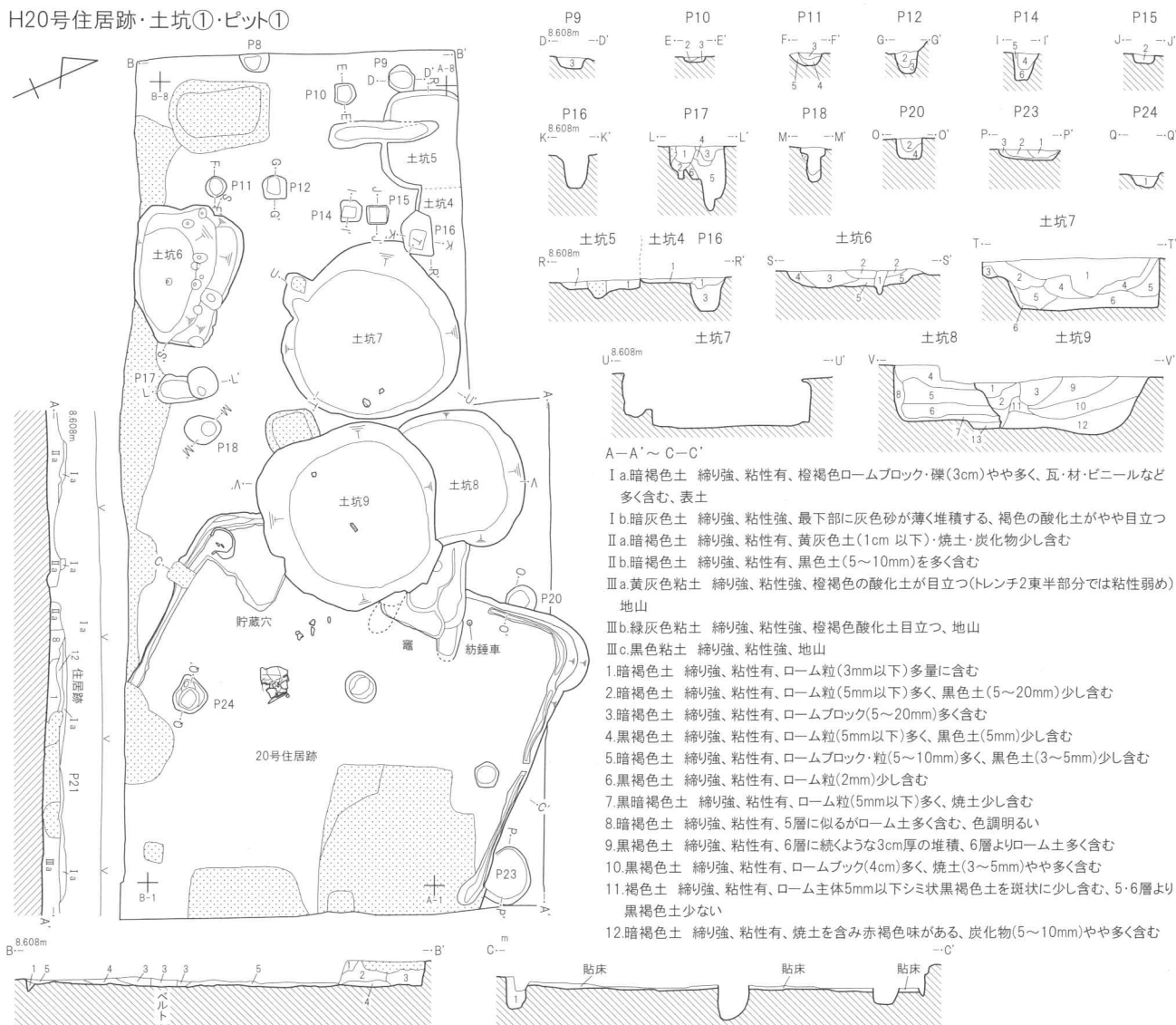
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
土坑1	(方形)	230×(197)	220×(193)	14.1	
土坑2	欠番				
土坑3	不明	104×(79)	82×(63)	7.3	
土坑4	不明	—	—	—	
土坑5	不明	86×(68)	78×(62)	13.5	
土坑6	隅丸方形	126×93	90×49	24.2	
土坑7	円形	163×150	134×123	48.1	
土坑8	円形	122×(78)	101×(63)	50.4	
土坑9	円形	165×156	130×127	51.3	
P1	円形	30×25	11×9(25×13)	35.2	
P2	円形	25×21	11×8	15.0	
P3	円形	37×25	9×6	37.2	
P4	円形	30×23	13×11	8.8	
P5	隅丸方形	26×21	5×4	56.4	
P6	楕円形	29×18	10×5	24.4	
P7	隅丸方形	32×27	13×10	19.6	
P8	半円形	25×16	13×11	27.2	
P9	円形	24×24	20×15	10.0	
P10	方形	19×18	15×12	6.6	
P11	円形	18×18	15×10	12.0	
P12	方形	21×20	15×11	19.6	
P13	欠番				
P14	方形	19×18	12×9	25.4	
P15	方形	19×16	15×13	7.7	
P16	方形	37×26	16×13	29.8	
P17	楕円形	54×27	9×6	52.8	
P18	楕円形	31×25	12×12	20.4	
P19	欠番				
P20	不明	27×(21)	17×16	23.5	
P21	欠番				
P22	欠番				
P23	不明	52×(35)	43×(30)	9.0	
P24	方形	29×27	16×11	13.3	

第3表 滝遺跡第15地点出土遺物観察表

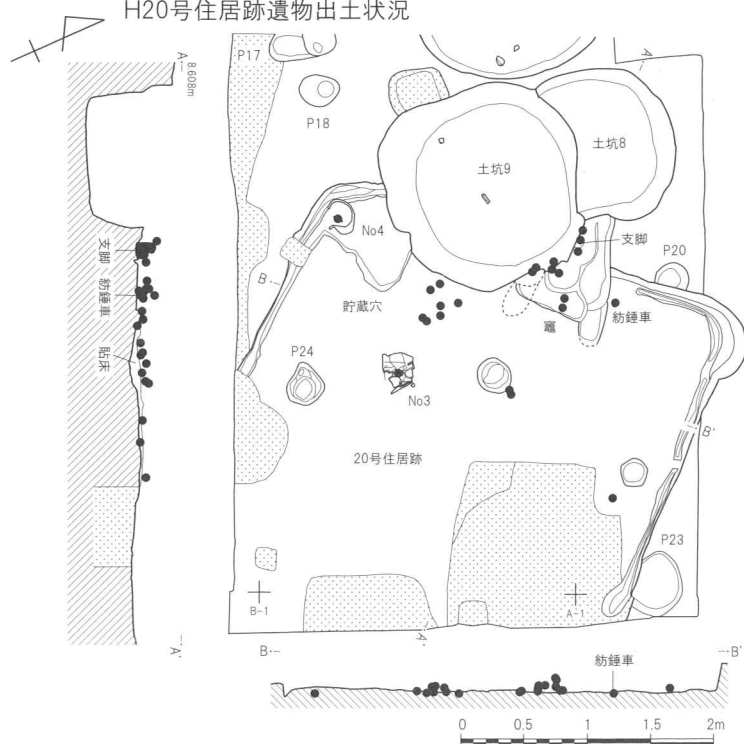
()推定 単位cm・g

No	出土遺構名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	器高・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代	残存・備考
1	H20号住居跡床面	土師器/坏	—	—	0.6~0.8	口縁部外反/胎土:砂粒多く含む、橙色	—	8C	口縁部片
2	H20号住居跡床面	土師器/甕	—	—	0.5	体部内面撫で、黒彩?	—	—	口縁部片
3	H20号住居跡床面	土師器/甕	—	—	0.5~0.8	縦方向の篋削り。胎土:砂粒多く含む、橙色	—	—	胴部
4	H20号住居跡貯蔵穴	土師器/甕	—	8.0	0.6~0.8	外面縦方向の篋削り、内面木口状工具による撫で/胎土:砂粒多く含む、橙色	—	—	胴部~底部
5	H20号住居跡覆土	土製品/紡錘車	3.8	3.1	2.4	断面:台形、孔径0.38~0.68/重量41.29g	—	—	完形
6	H20号住居跡竈	土製品/支脚	—	10.5	12.7	円筒形? /重量579.57g	—	—	1/2
7	井戸(旧土坑2)	磁器/急須蓋	受部径6.9	摘み径1.2	2.1	轆轤成形/摘み貼付け/穿孔/コバルト染付/草花文様	不明	1870年代以降	完形
8	井戸(旧土坑2)	磁器/戸車	直径(9.6)	—	2.1	轆轤成形/白磁/側面無釉で砂付着/軸孔径3.1cm/重量109.64g	肥前系	1780~1860年代	1/2以下
9	井戸(旧土坑2)	炆器/播鉢	(36.2)	—	—	轆轤成形/内面櫛目/胎土:赤褐色	堺・明石系	1820~1860年代	口縁部破片
10	井戸(旧土坑2)	土製品/面子	3	2.5	1.5	瓦質の破片を転用/楕円柱形に全面研磨/重量14.06g	—	近世	完形
11	井戸(旧土坑2)	石製品/砥石	15.6	2.8	3.4	石質:灰白色緻密質/小口面に櫛目状調整痕/重量222.3g	—	中世以降	筆置形で遺存
12	土坑1	磁器/小坏	(7.0)	3.1	5.1	轆轤成形/染付/海辺帆船文様	不明	1850~1870年代	1/2
13	土坑1	磁器/碗	—	—	—	轆轤成形/染付	瀬戸・美濃系	1840~1850年代	口縁部破片「端反碗」
14	土坑1	磁器/香炉	—	4.2	—	轆轤成形/足貼付け/外面青磁/播鉢形高台/重量/3.47g	肥前系	1780~1860年代	底部破片
15	土坑1	軟質磁器/皿	(21.0)	—	—	型打ち成形/銅版転写絵付/ワイルド・ローズ文様/貫入顕著	ヨーロッパ系	1860~1880年代	口縁部破片
16	土坑1	軟質磁器/皿	—	(12.5)	—	型打ち成形/銅版転写絵付/風景、ワイルド・ローズ文様/高台内に刻印/貫入顕著	ヨーロッパ系	1860~1880年代	底部破片
17	土坑1	陶器/皿	(26.3)	—	—	轆轤成形/鉄・呉須絵、灰釉/草花文様	瀬戸・美濃系	1820~1870年代	口縁部破片「石皿」
18	土坑1	陶器/土瓶蓋	受部径5.3	上面径7.6	2.2	轆轤成形/摘み貼付け/糸目回転施文、鉄釉/内面に刻印「タチ」ヤマに「木」銘/摘み径1.3cm	瀬戸・美濃系	1800~1860年代	「駄知土瓶」
19	土坑1	炆器/大甕	—	—	—	紐造り成形/胎土:赤褐色	常滑系	1850年代以降	底部破片
20	土坑1	土製品/泥面子/芥子面	2.1	2.8	0.7	型抜き成形/モチーフ:海老/裏面下端に針穴(奥行14mm)/重量3.47g	江戸近郊	1790~1890年代	完形「泥メンチ」
21	土坑1	瓦/棧瓦	—	—	—	下面に篋目/胎土色均一	—	近代	細片
22	土坑6	磁器/皿	—	(12.4)	—	轆轤成形/染付/松文様	肥前系	18C	底部破片
23	土坑7	陶器/灯明皿	—	(5.2)	—	轆轤成形/鉄釉/内面に煤、下面にタール付着	志戸呂系	1690~1790年代	底部破片
24	土坑9	石製品/砥石	7.9	2.9	1.8	石質:灰白色緻密質/表面黒色化/重量45.73g	—	中世以降	—
25	P5	陶器/灯明受皿	—	—	—	轆轤成形/受部貼付け/灰釉	信楽系	1860~1890年代	受部破片

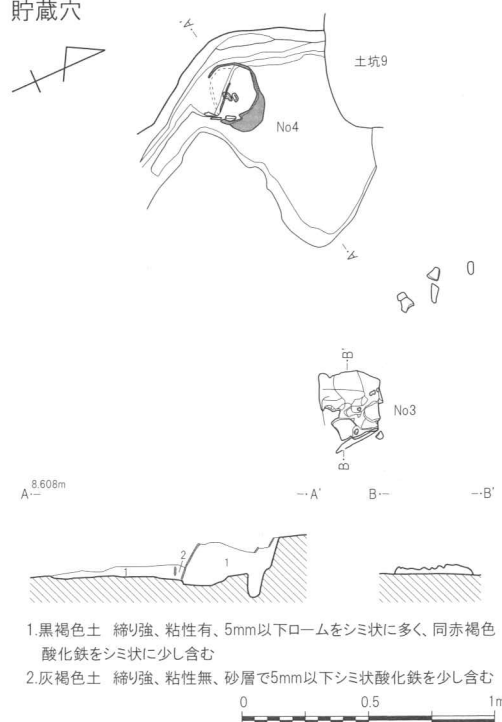
H20号住居跡・土坑①・ピット①



H20号住居跡遺物出土状況

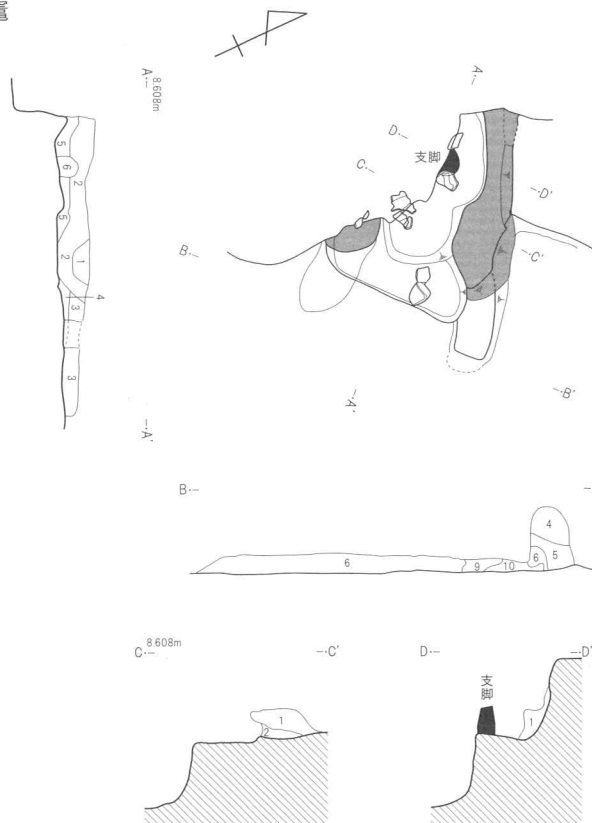


貯蔵穴

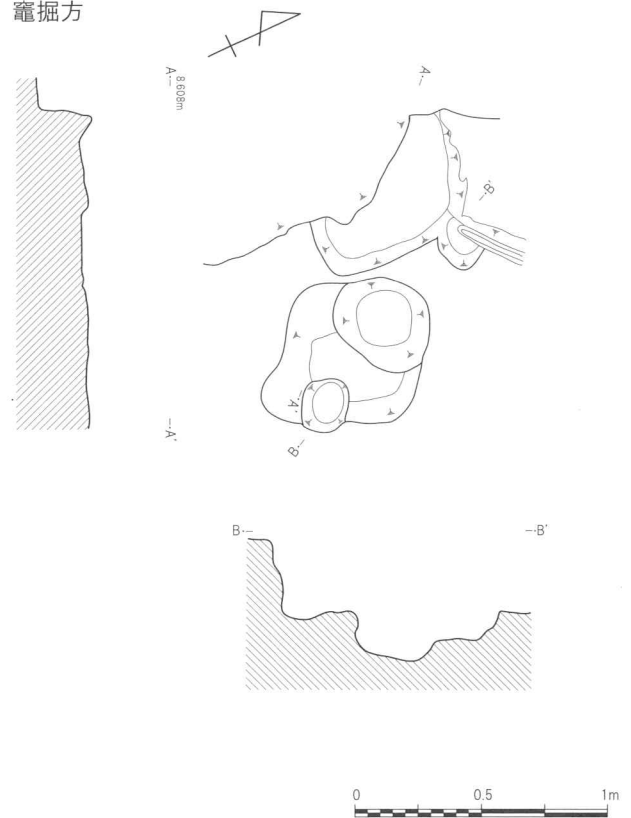


第5図 滝遺跡第15地点H20号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、貯蔵穴 (1/30)、土坑①・ピット① (1/60)

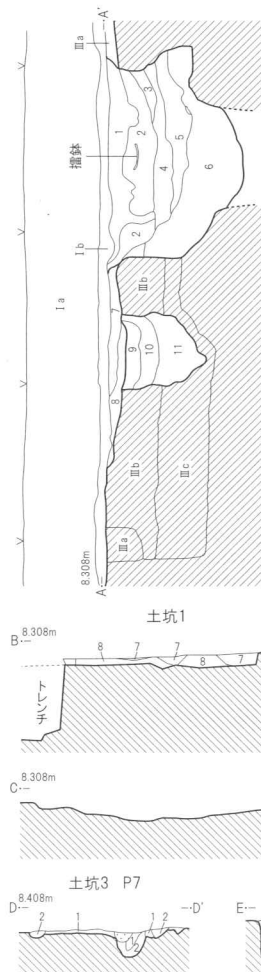
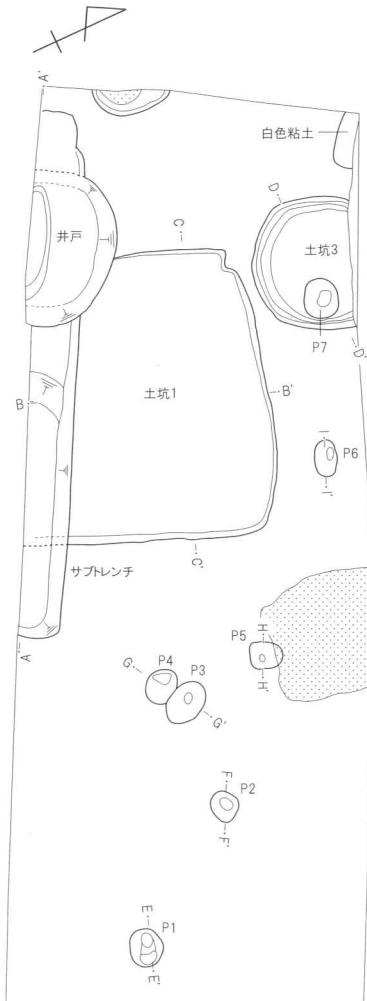
竈



竈掘方



井戸・土坑②・ピット②



竈

1.黒褐色土 締り強、粘性有、1mm大シミ状焼土少し含むのみ、攪乱又は近世ピットの可能性有り

2.黒褐色土 締り強、粘性有、1cm以下焼土ブロック多く、同シミ状ローム少し含む

3.暗褐色土 締り強、粘性有、1cm以下焼土層に同じ

4.黒褐色土 締り強、粘性有、1cm以下焼土ブロック多く、下層にシミ状黒炭化物多く含む

5.暗褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土と暗褐色ロームブロックを斑に含む、焼土は含まない

6.支脚

竈袖

1.褐色土 締り強、粘性有、ローム主体に1cm以下シミ状黒褐色土少し含む

2.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームとシミ状黒褐色土を斑状に含み、3mm以下シミ状赤褐色焼土極少し含む

井戸・土坑1

1.褐色土 締り強、粘性強、灰色粘土・炭化物(1cm)少し含む、橙褐色の酸化土やや目立つ

2.黒褐色土 締り強、粘性強、灰色シルト少し含む

3.黒褐色土主体 締り強、粘性強、黄灰色粘土を多く、橙褐色酸化土やや目立つ

4.黒色土 締り有、粘性強、砂を少し含む

5.黒色土 締り有、粘性強、砂を多く含む、磁器(染付須臾蓋)含む

6.黒色土 締り強、粘性強、緑灰色粘土(1~5cm)をやや多く含む、地山の黒色土より灰色味が強い

7.黒褐色土 締り有、粘性強、灰色粘土(5~20mm)・炭化物(2cm)・材をやや多く、礫(3cm)少し含む、褐色の酸化土が目立つ、2層に比べ灰色味強い

8.黒褐色土 締り強、粘性強、緑灰色粘土(1cm)・炭化物(2cm)・材をやや多く含む、褐色の酸化土が目立つ

9.黒褐色土 締り強、粘性有、緑灰色粘土(1cm)多く含む、灰色味強い

10.黒褐色土ベース 締り強、粘性有、緑灰色粘土ブロック(3cm)主体

11.黒色土 締り強、粘性強、緑灰色粘土(2cm)をやや多く含む

土坑3

1.褐色土 締り強、粘性強、ロームブロック・粒(2cm)をやや多く含む、やや酸化目立つ

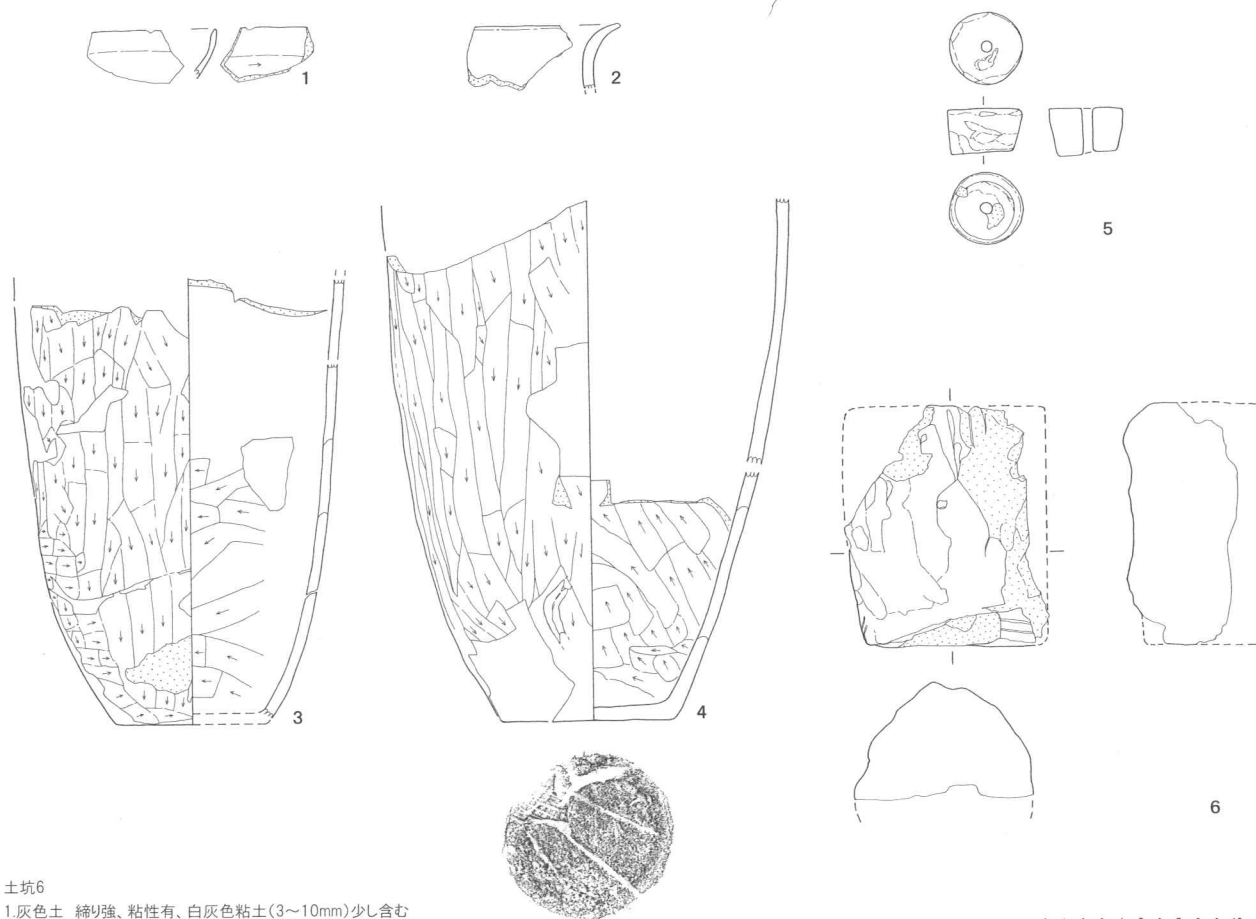
2.褐色土 締り強、粘性強、ローム粒(5mm)をやや多く含む

土坑4

1.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1cm以下)をやや多く含む

土坑5

1.黒褐色土ベース 締り強、粘性有、3cm以下ロームブロックを多く、焼土(5mm)少し含む



土坑6

1. 灰土 締り強、粘性有、白灰色粘土(3~10mm)少し含む
2. 褐灰色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)3層より少し含む
3. 褐灰色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)少し、焼土わずかに含む
4. 褐灰色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm)、白灰色粘土やや多く含む
5. 褐灰色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm)少し、炭化物(5~10mm)やや多く含む

土坑7

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)やや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)主体
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm)少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(2cm以下)やや多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)やや多く含む、ローム粒は少ない
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)やや多く含むが、5層よりは少なく全体の色調は暗い

土坑8・9

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土・炭化物(3mm)少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm以下)多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土(5mm)やや多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1.5cm)、ローム粒やや多く含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土・炭化物(5mm)少し含む
6. 褐灰色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土(5mm)少し含む、茶褐色の酸化土が目立つ
7. 暗褐色土主体 締り強、粘性有、黄灰色土(1cm以下)多く含む
8. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm以下)多く含む
9. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1.5cm以下)多く、焼土(3mm)少し含む
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1.5cm以下)多く、黒褐色土(1.5cm以下)・焼土(3mm)少し含む
11. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)少し含む
12. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(2cm以下)多く含む、10層よりローム粒が少ない、焼土(5mm)少し含む

ビット1

1. 暗褐色土 締り強、粘性強、ロームブロック(1cm)多く含む、ロームは橙褐色のものが目立つ
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、ロームブロック(1cm)やや多く含む

ビット2

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、ロームブロック(1cm)やや多く含む
2. 黒褐色土ベース 締り強、粘性強、ローム土主体

ビット3

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、青灰色土ブロックやや多く、橙褐色土少し含む
2. 黒褐色土主体 締り強、粘性強、ロームブロック(1cm)多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、青灰色土・橙褐色土(5~10mm)少し含む

ビット4

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、青灰色土ブロック多く含む、橙褐色土少し含む

ビット5

1. ビット6の1層に同じ土質で締り強い
2. 褐灰色土 締り強、粘性強、ローム粒少し、植物遺体多く含む、礫(6cm)含む

ビット6

1. 褐灰色土 締り有、粘性強、シルト質酸化目立つ

ビット7

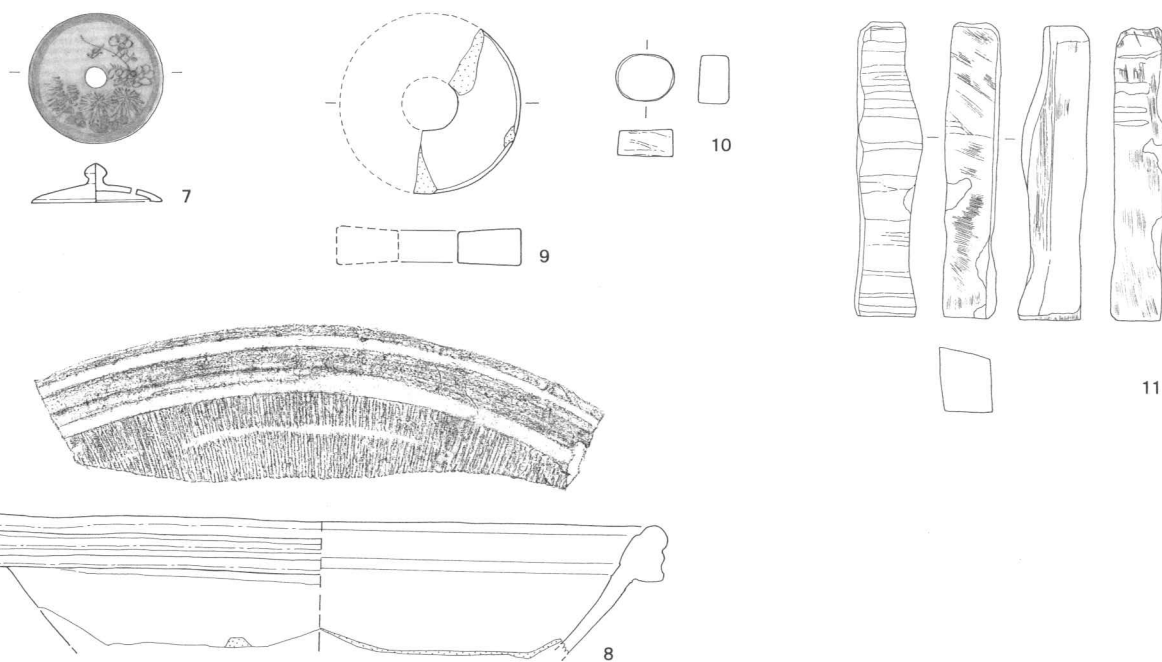
1. ビット6の1層に同じ
2. 褐灰色土主体 締り強、粘性強、ロームブロック(2cm)多く含む

ビット8~12・14~16・19・20・22

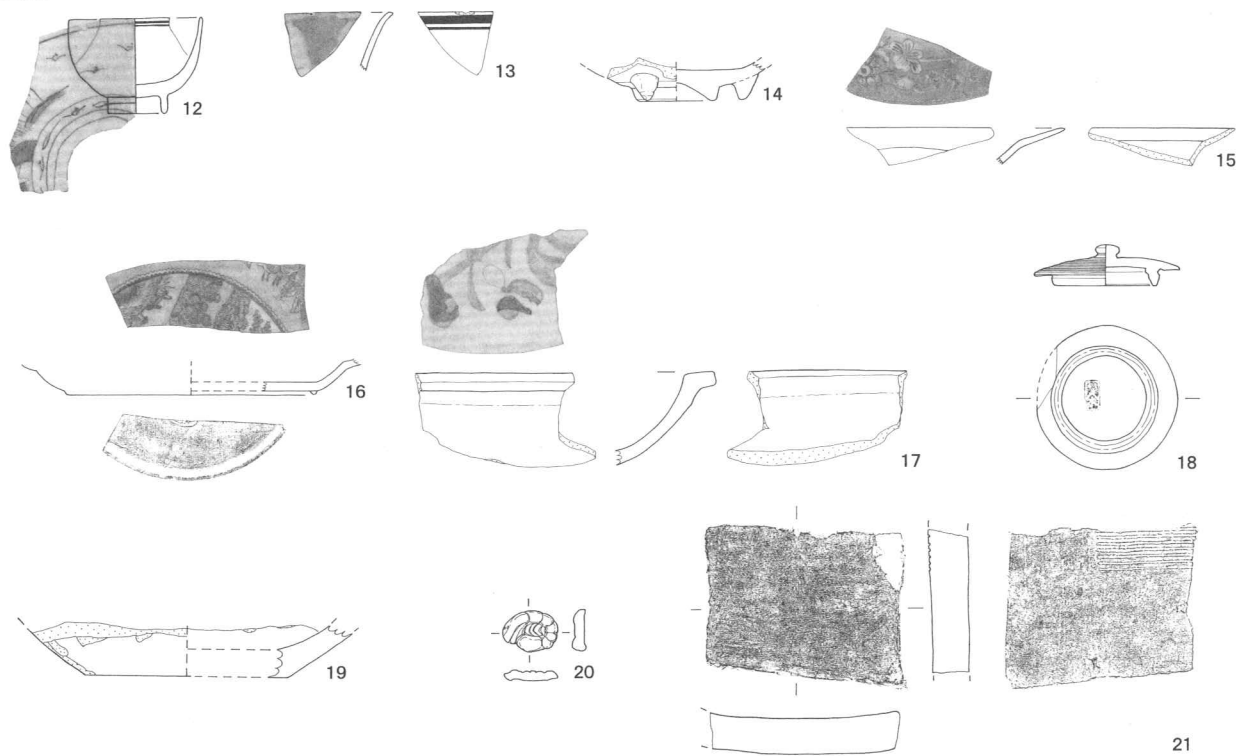
1. 暗褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック(2cm)多く、黒褐色土やや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)やや多く含む、灰色味がある
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)少し含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土多く含む、色調明るい
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム主体にシミ状に黒褐色土少し含む

第7図 滝遺跡第15地点H20号住居跡出土遺物(1/4)、土層説明

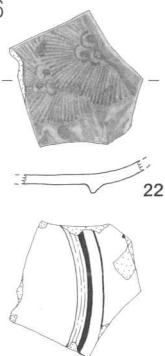
井戸



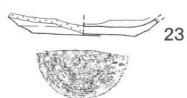
土坑1



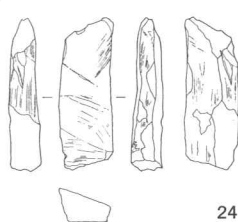
土坑6



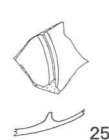
土坑7



土坑9



P5



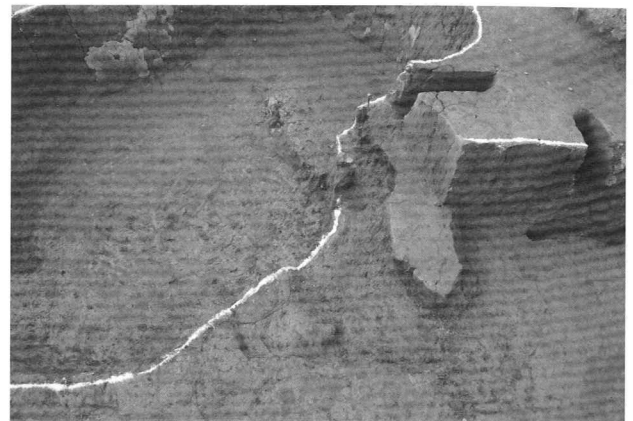
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第8図 滝遺跡第15地点出土遺物 (1/4)

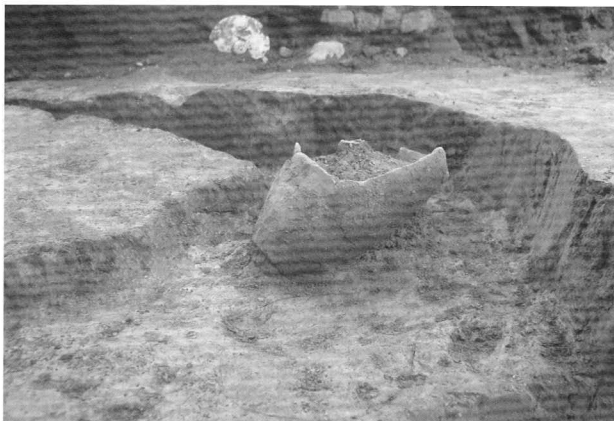
滝遺跡第 15 地点 (1)



滝遺跡第 15 地点 H20 号住居跡



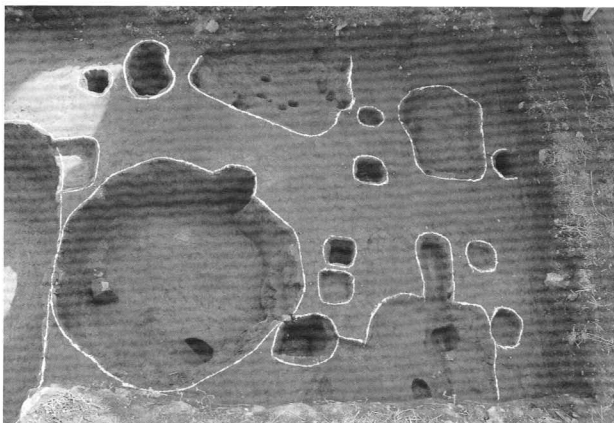
滝遺跡第 15 地点 H20 号住居跡竈



滝遺跡第 15 地点 H20 号住居跡遺物出土状況



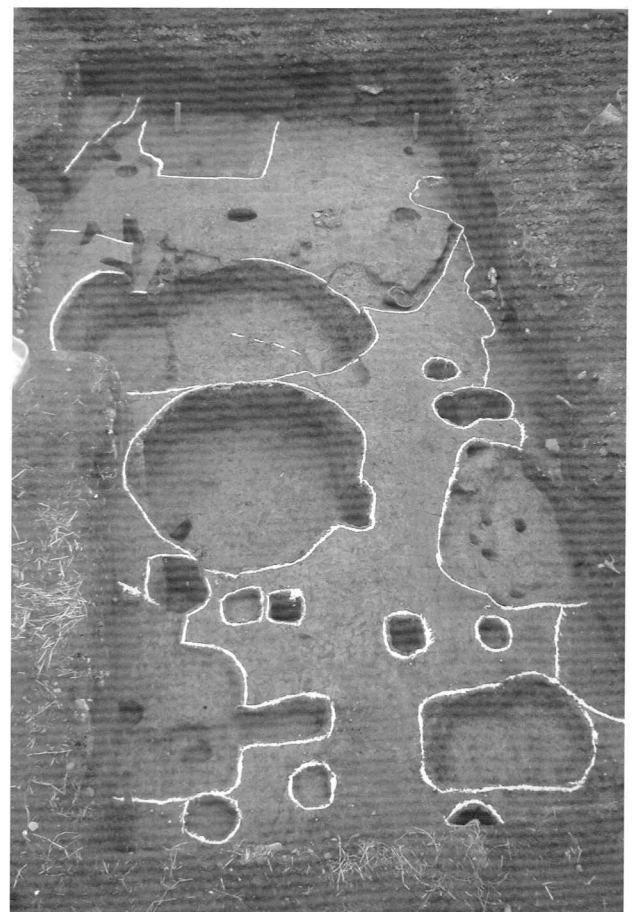
滝遺跡第 15 地点 H20 号住居跡遺物出土状況



滝遺跡第 15 地点土坑 4～7、ピット 8～12・14～18

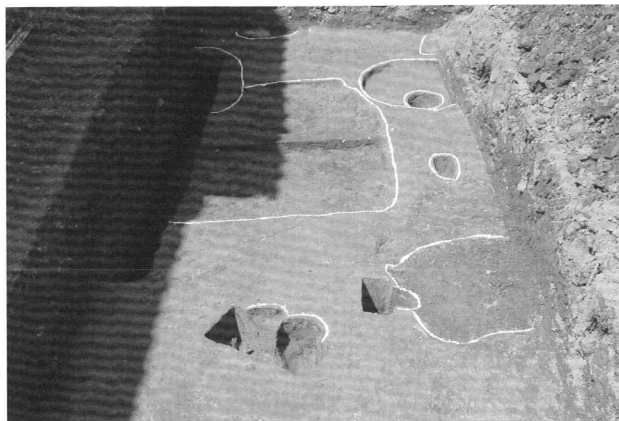


滝遺跡第 15 地点土坑 7～9 他



滝遺跡第 15 地点全景 (西から)

滝遺跡第 15 地点 (2)



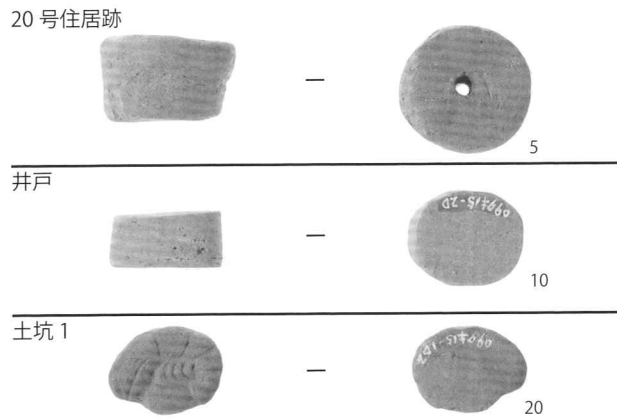
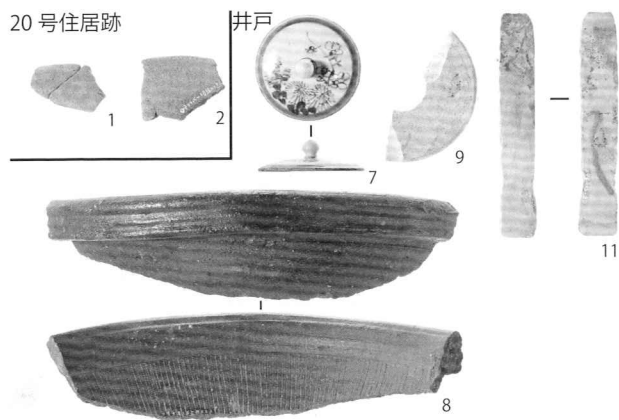
滝遺跡第 15 地点井戸、土坑 1・3、ピット 3～7



滝遺跡第 15 地点調査風景

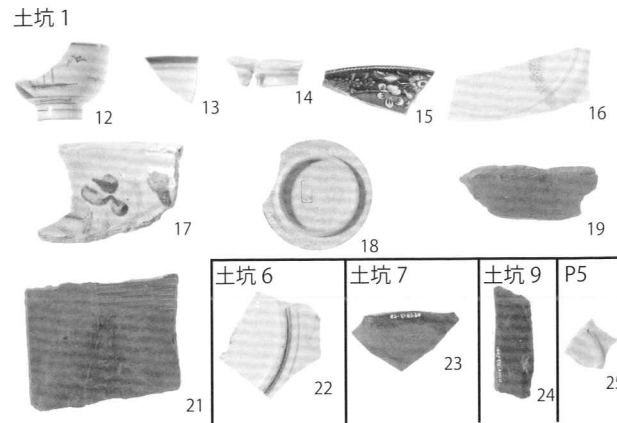
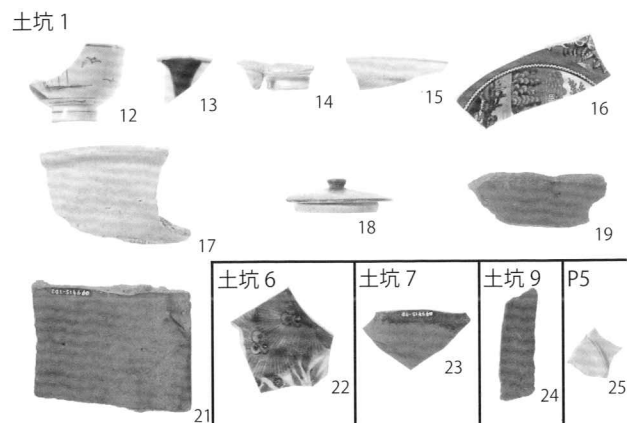


滝遺跡第 15 地点 20 号住居跡出土遺物 No.3・4・6



滝遺跡第 15 地点出土遺物 No.1・2・7～9・11

滝遺跡第 15 地点出土遺物 No.5・10・20



同上 出土遺物 No.12～19・21～25 表面

同上 出土遺物 No.13・15～18・21・22・24 裏面